

○日本植物ニ關スル最近ノ外國文獻(一)(原 寛)

永ラク遠ザカツテ居タ外國文獻ニクマデ接スル事ガ出來ル様ニナツタノハ、私共ニトツテ誠ニ愉快ナ事デアル。併シ一般ニハ未ダ入手困難デアルノデ、全國同好ノ方々ニ廣ク紹介スル意味デ、昭和16年秋以後ニ出版サレタ印刷物中カラ主トシテ日本植物ニ關スル事項ヲ拾ツテ別ニ順序ナク書き綴ツテ見ヨウト思フ。先ヅ米國ニ於ケル東亞植物研究ノ中心デアルハーバード大學アーノルド樹木園ニ於ケル研究狀況ノ大要ヲ次ニ述ベル。

本年82歳ニナル Rehder 博士ハ尙元氣デ研究ヲ續ケ、彼ノ名著 *Manual of Cultivated Trees and Shrubs* ed. 2 (1940)ノ姉妹篇デアル同著所載植物ニ關スル凡テノ出典異名等ヲ網羅シタ文獻目錄ハ殆ド完成ニ近ヅイタ。コノ研究中ニ氣付イタ學名ノ改訂ハ數回ニ互ツテ發表サレ、最初ノ論文ハ *Journal of Arnold Arboretum** 22 : 569—579 (1941)ニ載セラレタ。コノ中デいぬがやノ學名ニ就テハ小泉博士ト同意見デ、園藝品タルいぬまきニ與ヘラレタ *Cephalotaxus Harringtonia* (Forbes) K. Kochヲ種名トシテ採用シ(p. 569)、いぬがや、はひいぬがや、てうせんいぬがや等ヲソノ變種トシテ扱ツテ居ル。支那產ノ *Isotrema chrysops* Stapfヲ *Aristolochia* 屬ニ移シ(p. 574)、若シ *Hocquartia* Dumortier (1822)(おほぼうものすずくさ類)ガ屬トシテ區別サレルナラバソレヨリ3年早イ *Isotrema* Rafin. (1819)ヲ屬名トシテ用フベキ旨述ベテ居ル。むれすずめノ學名ハ更ニ古イ種名ニ基イテ *Caragana sinica* (Buc'hoz) Rehder (p. 576)ト改メラレタ。

次ニ 24 : 482—483 (1943) デれんげふ屬ノ名ニ *Forsythia* Vahl (1805)ヲ正式ニ保留屬名トシテ提議シ、*Rangium* Juss.ヲ用フル要ナキ事ヲ述ベタ。又 25 : 129—131 (1944) デハてうせんごみし屬ノ名ニ *Schisandra* Michauxヲ保留スベキ事ヲ提案シテ居ル。ソノ理由ハ、*Stellandria* Brickellノ方ガ同年デアルガ數週間早ク出版サレタラシイノデ、*Schisandra*ヲ保留スル必要ガアルト云フ。尙コノ屬名ハ *Schizandra*ト綴ラレル事ガ多イガ、コレハ原著ヲ見テモ又語源カラ見テモ *Schisandra*ガ正シイ。

更ニ 26 : 67—78 (1945) ; p. 472—481 (1945) ; 27 : 169—174 (1946)ノ3回ニ互ツテ主トシテ栽培樹木ノ學名改訂ヲ行ツテ居ル。日本カラ輸入シタひのきの一園藝品ニ對シテ *Chamaecyparis obtusa* f. *Barroni* Rehder (p. 68)ノ名ガ與ヘラレタ。おにぐるみノ學名ハ *Juglans Sieboldiana* Maxim. (1873)トサレデ居タガ、Little (1943)ニヨリ化石ニ *J. Sieboldiana* Göppert (1855)トイフ早イ同名ガアル事ガ指摘サレタノデ、次ニ古イ *J. ailantifolia* Carrièreヲ採用セネバナラナクナツタ。ソレ故ひめぐみヱソノ變種ト考ヘタ場合 *J. ailantifolia* var. *cordiformis* (Max.) Rehder (p. 68)ノ新組合セガ必要ニナル。併シ彼ハ後ニコノ名ヲ取消シ *J. cordiformis*

* 以下雜誌名ヲ省略シタモノハ凡テ同雜誌デアル。

Maxim. (1873) が種名トシテ最古ノモノデアルトシテ、おにくるみノ學名ヲ逆ニ *J. cordiformis* var. *ailantifolia* (Carr.) Rehder (p. 472) ト改メタ。コレハ *J. cordiformis* Maxim. (1872) ニモ *J. cordiformis* Wangenheim (1787) トイフ先行名ガアル點ヲ見逃シテ居ルノデ反ツテ初ノ考ノ方ガ正シイ。まんさくト支那産ノ *Hamamelis mollis* Oliv. トノ雜種ガ *H. intermedia* Rehder (p. 69) トシテ新シク記載サレタ。せんになさうノ學名ニ就テハ既ニ大井博士 (1938) モ論ゼラレテ居ルガ、*Clematis paniculata* Th. ガ用ヒラレナクナツタ結果トシテ、Rehder ハ濟州島産ノ *C. dioscoreifolia* Lévl. et Vnt. (1909) ヲ種名トシ、普通ノ形ヲソノ變種 var. *robusta* (Carr.) Rehder (p. 70) トシタ。併シコノ問題ハ大井博士ノ指摘サレタ様ニ中國産ノ *C. terniflora* DC. (1818) ガせんになさうト同一種中ノモノデアるか否カガ決定サレナケレバ學名ガ安定シナイ譯デアル。はしどひ屬 (*Syringa*) ノ新區分ガ p. 76 ニ示サレテ居ル。やぶでまりノ學名 *Viburnum tomentosum* Th. (1784) ニハ *V. tomentosum* Lam. (1778) ノ先行名ガアルノデ、花ガ全部無性花ニナツタ形ニ名付ケラレタ *V. plicatum* Th. (1794) ヲ採用シ、普通形ヲソノ f. *tomentosum* (Th.) Rehder (p. 77) ト改メ、他ノ園藝品種ニ就テモ新組合セガ行ハレタ。あせびノ葉ノ縁ノ著シク波狀ニ縮レタ園藝品種ガ *Pieris japonica* f. *crispa* Rehder (27: 173) ト名付ケラレテ居ル。

又亞科ノ名ニ現行命名規約ヲ嚴密ニ適用スルト變更ヲ要スルモノガアリ、Pinaceae subfam. Taxodioideae Rehder (26: 67); Gramineae subfam. Bambusoideae Rehder (p. 78); Leguminosae subfam. Lotioideae Rehder (p. 477) ノ新組合セガ行ハレタ。科名ニ就テハ 26: 277—279 (1945) デ、Moraceae (くは科), Hippocastanaceae (とちのき科), Vitaceae (ぶどう科) ノ三名ガ新タニ保留科名トシテ追加提議サレタ。又 27: 169 (1946) デかばのき科ニ對シ Betulaceae Bartling (1830) ヨリモ Corylaceae Mirbel (1815) ノ方ガ早イ事ヲ明カニシ、コノ科ヲ Trib. I. Betulaceae (Dum.) Rehder ト Trib. 2. Coryleae (Meissn.) Rehder トニ二大別シテ居ル。

Merrill 教授ハ Perry 博士ト共ニ舊世界産ノ *Turpinia* Vent. (せうべんのき屬) ニ就テノ觀察ヲ 22: 543—555 (1941) デ發表シ、コノ中デ同屬中ノ複葉ヲ有スル種類ヲ再檢討シタ。東南アジア産ノ種類ガ凡テ離生シタ托葉ヲ有シテ居ルノニ、今回初メテニューギニアニ發見サレタ2新種ハ共ニ托葉ガ合生デアルノハ興味深イ。せうべんのきハ *T. ternata* Nakai デアルガ、*T. lucida* Nakai ハ *T. ovalifolia* Elmer (1908), *T. gracilis* Nakai ハ *T. montana* Kurz ノ異名ト考ヘラレテ居ル。新ギニア産ノ新植物ニ關スル報告ガ連載サレテ居ル中ニ、金平・初島兩博士ノ採集品ガ處々ニ引用サレテ居ルノガ私共ノ目ヲ惹ク。又 Metcalf 博士ト共ニ 23: 226—230 (1942) デ *Hedyotis* L. versus *Oldenlandia* L. ノ問題ヲ取扱ツテ居ル。コレハ私ガ植物研究雜誌 18: 85—90 (1942) デ論ジタノト同一問題ヲ同時ニ獨立ニ扱ツタモノデ、主ニ命名上カラ簡單ニ記シテアリ、結論ハ *Hedyotis* ト *Oldenlandia* 兩屬ヲ合一シタ際ニハ

Hedyotis L. ヲ採用スベキ事ヲ述ベテ居ル。Merrill 教授ハ又 *Emergency Food Plants and Poisonous Plants of the Islands of the Pacific* (1943) 及ビ *Plant Life of the Pacific World* (1945) ノ二著ヲ出版シ、後者デハ簡單デアルガ日本ノフローラニモ少シ觸レテ居ル。

Walker 博士ハ中國及ビ佛印產ノやぶかうじ科植物ニ就テ 23: 344—355 (1942) ニ述ベタ論文申デ、つるあかみのきヲ *Myrsine* 屬ニ加ヘ *M. stolonifera* (Koidz.) Walker 2p. 354) ノ新組合セヲ行ツテ居ルガ、コノ意見ハ既ニ同氏ガ *Philip. Journ. Sci.* 73: 47 (1910) ノ訂正中デ明カニサレテ居ル。海南島產ノ *Bladhia pseudogiunuegona* Masam. (1939) ハししあくちト同一種ト見做サレタ。又 25: 319—341 (1944) デハ、すのき屬 (*Distylium*) ト *Sycopsis* 兩屬ヲ檢討シテ、いすのき (*D. racemosum* S. et Z.), しまいす (*D. lepidotum* Nakai), たいわんいす (*D. gracile* Nakai) ヲソノマニ認メテ居ル。

Li (Hu-Li) 博士ハ主トシテ中國產植物ヲ研究シテ居ルガ、ソノ中ニハ日本ノ植物ニ關係ノアル事項モ少クナイ。25: 1—42 (1944) デハ中國產のぼたん科 (*Melastomataceae*) ヲマトメテ居リ、たしろのき屬 (*Tashiroea* Matsum.) ハはしかん屬 (*Bredia* Planch.) ヲ廣義ニ取扱ツテソノ一節 *Sect. Tashiroea* Li (p. 21) ト見做シ、たしろのきヲ *B. okinawensis* (Matsum.) Li, やへやまのぼたんヲ *B. yaeyamensis* (Matsum.) Li ト改メタ。

A. C. Smith 博士ハ形態學者タル Bailey, Nast 兩博士ト協力シテうまのあしがた目 (*Ranales*) ニ屬スル木本ノ諸科ニ就テ詳細ナ研究ヲナシ、*Degeneriaceae*, *Himantandraceae*, *Winteraceae*, *Trochodendraceae*, *Tetracentraceae*, *Eupteleaceae* 等ニ就テソノ結果ヲ發表シテ居ル。コノ内日本產ヲ含ムやまぐるま科トふさざくら科ニ就テノ結論ヲ次ニ略記スル。やまぐるま科 (26: p. 129, 1945) ハ一屬一種やまぐるまヲ含ムノミニ限定サレ、コノ科ハ *Tetracentraceae* ニ最モ近縁デアツてもくれん科トハ明カニ異ナリ、ふさざくら科ヤかつら科トハ縁遠イモノデアル。ふさざくら科 (27: 175, 1946) ハ1屬2種ヲ含ミ、やまぐるまトハ形態上多クノ著シシ差異ガアリ、コノ科ハうまのあしがた目中他ニ比ベルモノナイ極メテ特異ナモノデアル。本研究ハ分類學者ト形態學者ノ密接ナ協力ニヨツテ行ハレタモノデ、從來兎角疎カニサレ勝ダツタ材ノ特徵莖・葉ノ構造ヤ花各部ノ解剖學的又顯微鏡的ノ諸性質ニ至ル迄詳シク異同ヲ確カメテ論ヲ進メテ居リ、今後各方面ノ専門學者ノ協力ニモル基礎的研究ノ一方向ヲ示シタモノトシテ特ニ注目スベキデアル。

ごまのはぐさ科專攻ノ Pennell 博士ハ 24: 243—274 (1943) デニューギニア產ノ同科植物ヲマトメテ居ル。コノ中デあぜたうがらし屬 (*Lindernia*) ノ種類ニ就テハ私ガ植物研究雜誌 19: 203—209 (1943) ニ述ベタ事柄ト相違シテ居ル點ガ二三アル。ざらめきうりくさノ學名ハ命名上ノ理由デ *Lindernia hirta* (Cham. et Schl.) Pennell

(p. 250) ト改メラレタ。くちばしぐさニ就テハ、*Ruellia antipoda* L. ノ原記載ヲ再吟味シタ結果明カニ本種ノ特徴ヲ示シテ居ルト考ヘ、コレニ基イタ *Lindernia antipoda* (L.) Alston ヲくちばしぐさニ用キテ居ルガ(p. 253), リンネノ原標本ハ見テ居ナイ。すずめのたうがらしもどきハ *L. ciliata* (Colsmann) Pennell (p. 253) ノ名特新組合セトシテ發表シテ居ルガ、コレハ私モ指摘シタ如ク Brittonia 2: 182 (1936) ニ發表サレテ居ル。*L. antipoda* ノ學名ガくちばしぐさニ用ヒラレルト、すずめのたうがらしノ學名ガ再ビ問題ニナルガ彼ハコレニ對シ *L. anagallis* (Burmenn) Pennell (p. 252) ノ新組合セヲ作ツタ。併シすずめのたうがらしニ就テハ私が既ニ極メテ多形デ再研究ヲ要スルト述ベタ様ニ未ダ色々ノ疑問ガ殘ツテ居ル。即チコノ組合セノ基ニナツタノハ *Ruellia Anagallis* Burmann (1768) デアルガ、Pennell ハコノ種ノ基準ヲ Rumphius, Herb. Amboin. 5: 460, t. 170, f. 2 (1747) ト考ヘテ解釋ヲ下シテ居ルガ、Hochreutiner (1934) ニヨレバ Herb. Delessert = Burmann ノ基準標本ガアリソレハ *Gratiola grandiflora* Retz. ト同形デアルト云フ。少クトモすずめのたうがらしハ *L. Anagallis* ト全ク同型デハナク、變種位ニハ區別スベキモノト思ハレル。こみぞはほづきノ學名ハ *Torenia violacea* (Azao'a) Pennell (p. 255) ト變更サレタ。

○をかとのをノ葉ノ着キ方 (原 寛)

をかとのをノ主莖ハ直立シ單一デ、葉ヲ閉隙ニ互生シテ、莖頂ニ總狀花序ヲ着ケル。往々上部ノ葉腋ニ短イ枝ヲ出シテ 2—4 枚ノ小形ノ葉ヲ對生シテ居ルガ、コノ枝ハ通常延ビズ餘リ目立タナイ。トコロガ主莖ガ刈リ取ラレタリ、又先端ガ蟲害デ傷メラレタリスルト、殘ツタ主莖ノ葉腋カラ數本ノ側枝ガ勢ヨク長ク延ビテ來テ、稀ニハ頂ニ花序ヲ着ケル。ソウシテコノ枝デハ葉ハ多少ズレル事モアルガ概ネ對生シテ居ル。ソレ故カヤウナ枝ダケヲ折リ取ツテ來ラレルト一寸何ダカ面喰フ事ガアル。殊ニ主莖ガ早期ニ下部カラ刈ラレタ様ナ場合ニハ注意シテ採集シナイト分ラナイ。コノ様ナ事ハ同屬ノ他種ぬまとらのをヤのぢとらのをデモ見ラレル。むかへばぬまとらのをト云フ名ノツイタモノモ主莖ガ傷メラレ側枝ガ延ビテ花序ヲ着ケタ標本デアル。

○雜誌複刊及創刊

日本植物學會ノ機關誌デアル植物學雜誌ハ昭和 19 年 3 月第 53 卷第 687 號ヲ配布シタ後ハ暫ク發行ガ停止シテイタ。ソノ後種々ノ努力ノ末ニ昭和 19 年 6 月發行サレタモノガ昭和 21 年 5 月北陸館ニヨツテ發賣且ツ配布サレ 58 卷ハコレデ終リトシ昭和 21 年ニ 59 卷ヨリ發行スルコトナツタ。

札幌ノ北方出版社ヨリ生物學研究機關誌ノ生物ガ昭和 21 年 2 月創刊サレタ。主幹ハ内田亨氏、編輯ハ北海道帝國大學理學部動物學教室ノ牧野佐二郎氏デアル。本誌ハ生物學全般ニワタル研究論文ソノ他ノ發表機關トシテ一般ニ開放サレテイル。一年 6 回隔月發行ノ豫定デ 21 年中ニ 5 冊 (5 冊目ハ 5—6 號) 發行サレタ。定價ハ初メ年極メ 25 圓トサレタ。